



あいさつをする小林組合長

南八甲田高原野菜生産組合総会



南八甲田高原野菜生産組合（小林喜代勝組合長）は4月17日、平川市の葛川克雪管理センターで、「第47回通常総会」を開き、組合員約30人が出席しました。

総会では、今後も野菜産地として継続的に発展するため計画出荷体制を整え、所得向上と経営安定を目指すことを確認しました。

きぬさや出荷説明会



尾上青果センターは5月2日、平賀園芸センターできぬさやの出荷説明会を開きました。

尾上青果センターの齋藤寿徳統括が出荷基準などを説明し、「箱詰めは大きさを揃え、品質基準を守って出荷する。また、適切な薬剤散布を行い、病害虫防除を徹底してほしい」と呼びかけました。また、目揃え会も行われ、生産者はサンプルで出荷規格を確認しました。

青森県産きぬさやは、市場では高級品として高値で取り引きされています。ハウスや露地栽培で11月まで収穫され、県内外の市場に約7000箱（1箱／1キロ）の出荷を計画しています。



出荷規格を確認する生産者

信用・共済事業推進大会



金融部と共済部は4月24日、黒石市のグリーンパレス松安閣で「令和6年度」JA津軽みらい信用・共済事業推進大会を開きました。JAの役職員が参加し、利用者満足度の向上と地域との絆づくりに取り組み、目標の早期達成を目指すことを決議しました。

また、同日行われた「青森県」JA信用・共済事業合同推進大会で、共済事務課の宇野正樹主任がJA自動車共済損害調査サービス優秀担当者選ばれ、工藤友良組合長から賞状を受け取りました。



工藤組合長（左）から賞状を受けとる宇野主任